

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和2年度

市町村名	志木市					
提案事業名	地域の「しよく（食・職）場づくり」担い手育成による食育の推進事業					
事業期間	31年度 ～ 31年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 「市民食育サポーター」を養成した人数					
	(成果検証の具体的な方法) 事業実施後に集計する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A (B) C
	従前値 (H31年1時点)	0人	目標値 (R2年3月時点)	20人	実績値 (R2年3月時点)	14人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページに記載				

【事業効果の整理・原因分析】

平成31年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 地域の「しよく（食・職）場づくり」担い手育成による食育の推進事業	○ (△) ×	参加者のニーズや特性に合わせた講座を実施しながら、地域活動への動機づけや地域活動におけるノウハウの提供を行うことで担い手育成を図った結果、すでに養成サポーターとして地域活動をされている参加者もいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初予定していた年度末の講座を実施することができず、目標値に届かなかった。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症の影響により、年度途中で講座を中断したこともあり、地域で食育活動を推進するボランティアとして必要な知識やノウハウの提供が不十分であった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	新型コロナウイルス感染症影響下における令和2年度の養成講座の実施、および平成31年度養成講座修了者の地域活動展開の方策を検討する。具体的には、対面での関わりが難しい状況の中、メールやライン等のICTを活用し、実施できる体制作りをしながら、育成が継続できるようにしていく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 \geq (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値-従前値) \times 60%+従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない